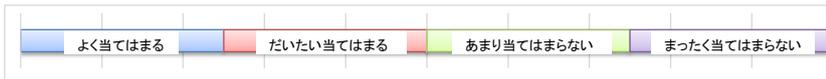


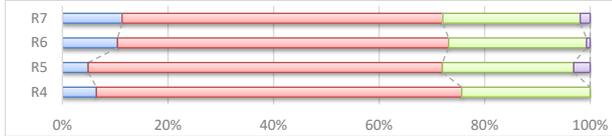


	回収枚数	生徒数
1年生	110	234
2年生	96	200
3年生	84	225
合計	290	659

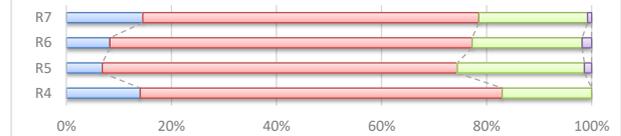
回収率 44%



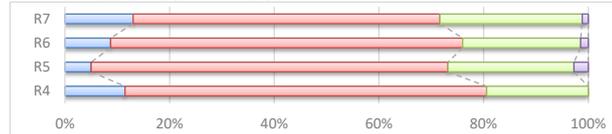
1 保護者から見て、龍野東中学校には、自慢できるよいところがたくさんあると思う。



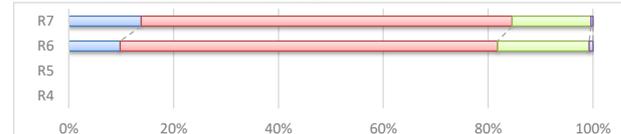
2 学校・教師は、生徒の目標や夢を支えながら、自ら学び考える進路指導やキャリア教育を心がけている。



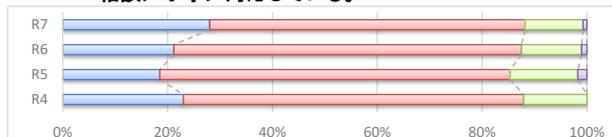
3 学校・教師は、わかる授業をめざし、指導方法の工夫・改善等に努めている。



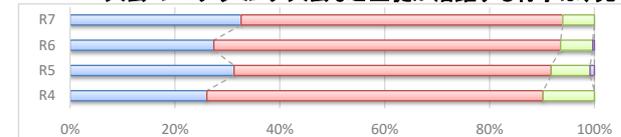
4 学校・教師は、教師中心ではなく、生徒中心の主体的・対話的・深い学びの授業をめざしている。



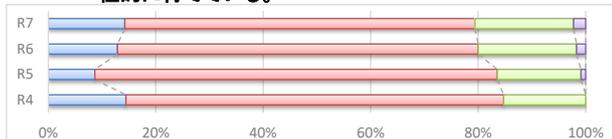
5 学校・教師は、生徒の悩みや相談、保護者からの連絡や相談に丁寧に対応している。



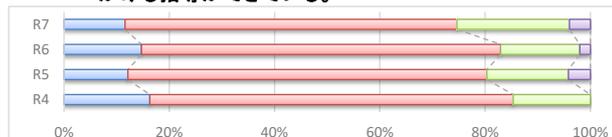
6 龍野東中の体育祭や合唱コンクール・文化祭・タイピング大会・プログラミング大会など生徒が活躍する行事は、充



7 学校は、道徳心や社会のルール・マナーを守る態度を積極的に育てている。



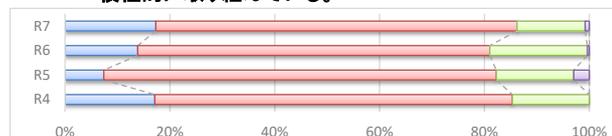
8 学校は、交通ルールをきちんと守り、登下校の安全を心がける指導ができています。



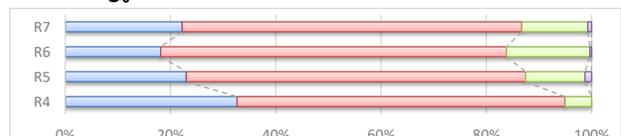
9 保護者からみて、東中の職員は、まとまりがあり、積極的に生徒の指導にあたっていると思う。



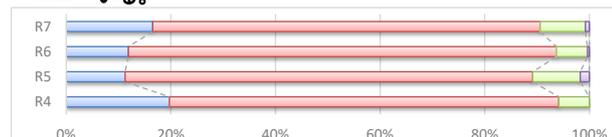
10 学校は、「いじめ」をゆるさない等、人権を重んじた教育に積極的に取り組んでいる。



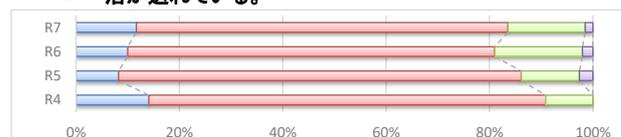
11 校の情報を地域や保護者に積極的に発信するよう努めている。



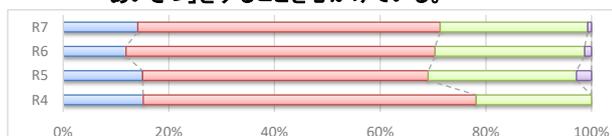
12 学校は、生徒の健康づくりや施設の安全管理等に努めている。



13 龍野東中の生徒は、学校や地域において、落ち着いた生活が送れている。



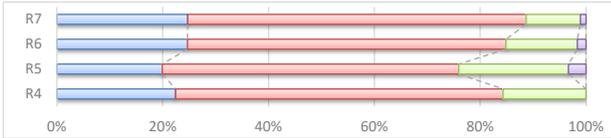
14 お子様は、近所の人や地域の人になど、誰にでも元気な「あいさつ」をすることを心がけている。



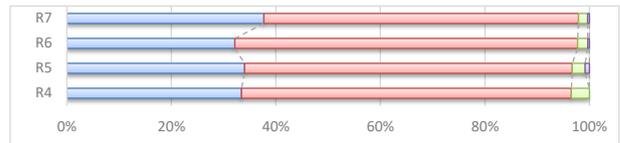
15 お子様は、学校の学習の内容が、十分に理解できていると思いますか。



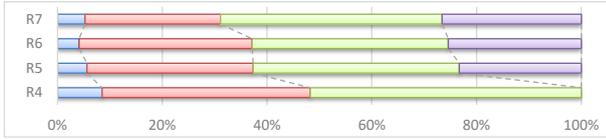
16 お子様には、困ったときに保護者以外に、相談できる先生や友達がいると思いますか。



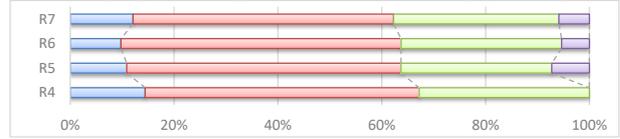
17 お子様は、保護者から見て、友達に思いやりを持って接したり、友達を大切にしていると思いますか。



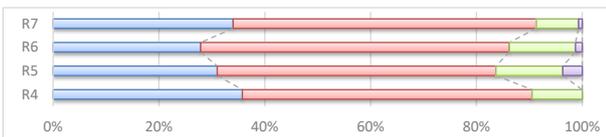
18 お子様は、「ノーゲーム・ノースマホデー」を守ったり、正しくSNSを使用していると思いますか。



19 お子様は、食事や睡眠などの生活習慣について、自分で健康管理に気を配ることができていると思いますか。



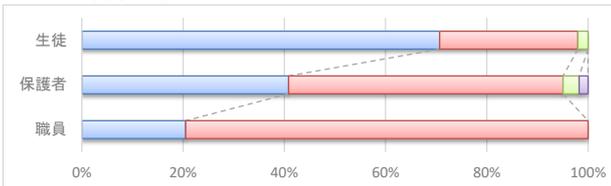
20 お子様は、保護者から見て、学校生活が楽しそうですか。



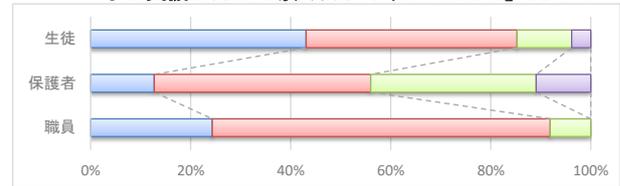
東中学校で実施している放課後や夏休み中の「龍東チャレンジ教室」などの補充学習や個別最適な学びを支援する「AIドリル」、今年度から実施した「完全下校17:00」や「定期考査改革」について



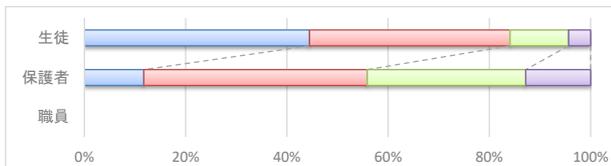
20 東中で実施している「龍東チャレンジ教室」等の補充学習について



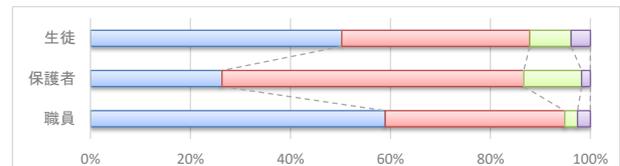
21 「誰一人取り残すことない学び」を目指し、個別最適な学びの支援のために導入したAIドリル「Qubena」について



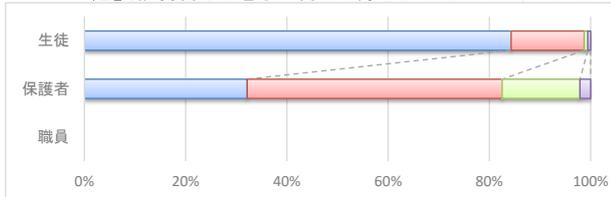
22 今年度、「評価のためのテストから、生徒のためのテスト」を目指し、置き感の減少などを考え、広いテスト範囲の定期考査から、狭いテスト範囲の単元テスト(ひがドラ Check)に変える取り組みについて



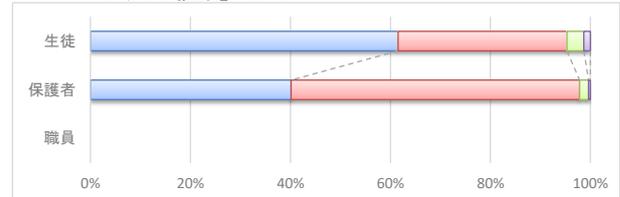
23 心身の健康に配慮するため今年度から実施した、部活動の年間時数を維持しながら、通年での17:00完全下校について



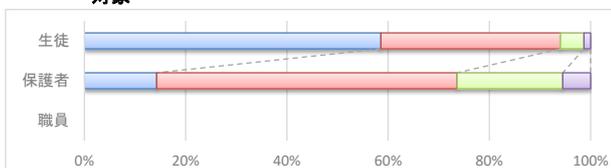
24 体への負担軽減と忘れ物防止のために行っている「置き勉」(教科書などを家に持って帰らなくてよいこと)について



25 欠席時など、場所を問わず授業を受けることのできる「オンライン授業」について



26 令和6年度1年生から導入している、相談できる教師、支援してくれる教師を増やすための『複数担任制』について ※1・2年生対象



保護者の皆様へ

令和7年度 学校評価アンケートに寄せられたご意見への回答と、本校が目指す教育改革の意義について

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に対し多大なるご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。先般実施いたしました学校評価アンケートにおきましては、ご多用中にもかかわらず、多くの保護者の皆様から大変貴重なご意見を多数いただきました。記述いただいた内容は、教職員一同ですべて拝読いたしました。子どもたちが楽しく登校できている様子や、教職員の関わりに対する温かい感謝のお言葉は、私たちにとって何よりの励みです。一方で、現在本校が進めている改革に対し、不安や戸惑いの声も寄せられました。いただいたご意見を踏まえ、改めて本校がなぜこれまでの学校の当たり前を見直し、新しい教育の形に挑戦しているのか、その意図と子どもたちにとっての意味合いについてご説明させていただきます。

まず、最も多くのご意見をいただいた学習評価方法（ひがドラ・定期テストの廃止）についてです。皆様からは「範囲の広いテストがないと実力がつかないのではないか」「受験に向けた準備が心配だ」という切実な声をいただきました。私たちが定期テストを廃止し、単元テスト（ヒガドラ）中心の評価に切り替えた最大の理由は、子どもたちを「テストのためだけに勉強する」姿勢から脱却させ、「日々の学習を自分のものにする」姿勢へと転換させるためです。一夜漬けで点数を取り、終われば忘れてしまう学習ではなく、小さなステップで確実に理解を積み重ね、自らの学習状況を常に把握できる力を育てたいと考えております。これは、変化の激しいこれからの社会において、生涯にわたって学び続けるために不可欠な力です。もちろん、皆様が懸念される「広い範囲の知識定着」や「受験への対応力」も重要です。今後は、ヒガドラで培った日々の学習習慣を土台としつつ、節目での復習機会をより効果的に設定することで、入試本番にも揺るがない「真の学力」を養ってまいります。単に昔に戻すのではなく、新しい学びのスタイルの上で、確かな結果を出せるようシステムを調整してまいります。

次に、ICT活用（Qubena等）とチーム担任制についてです。「書く力が落ちるのではないか」「誰に相談していいかわからない」といったご指摘をいただきました。AIドリル等のICT活用は、一斉授業では拾いきれなかった「個々のつまずき」を発見し、一人ひとりに最適な学習を提供するための手段です。子どもたちが自分のペースで学び直しや先取りができる環境は、自律的な学習者を育てる上で大きな武器となります。もちろん、思考を深めるための「書く活動」も疎かにせず、デジタルとアナログの最適解を追求してまいります。また、チーム担任制は、一人の担任だけが抱え込むのではなく、複数の教員が多角的な視点で子どもたちを見守り、サポートするための体制です。子どもたちにとっては、話しやすい先生を選んで相談できるというメリットがあり、実際に「相談しやすい」という声も届いております。保護者の皆様への窓口が分かりにくいという課題につきましては、連絡体制を整理し、チーム全体で責任を持って対応することで、より安心で手厚いサポートを実現してまいります。

生活面、特に登下校の安全やマナーにつきましてもご意見をいただきました。本校では、校則や行事においても「生徒主体」を掲げています。これは決して放任ではなく、子どもたちが「なぜルールが必要なのか」を自ら考え、判断し、行動できる大人になってほしいと願うからです。しかし、命に関わる交通ルールに関しては、生徒の未熟さに委ねるのではなく、大人が毅然と指導すべきラインであると認識しております。自律を促す部分と、社会のルールとして厳守させる部分のメリハリをつけ、地域の方々からも応援される東中生を育ててまいります。

私たちは今、子どもたちが予測困難な未来をたくましく生き抜くための力を授けるべく、学校のあり方そのものをアップデートしようとしています。その過渡期において、保護者の皆様にご心配をおかけしている点は真摯に受け止め、説明不足であった点は改善いたします。しかし、時計の針を戻すのではなく、いただいたご意見を「改革をより良いものにするためのエネルギー」に変え、前へ進めていきたいと考えております。「すべては子どもたちの未来のために」。この想いは保護者の皆様と同じです。どうか、本校の教育改革の意義をご理解いただき、学校と家庭が車の両輪となって子どもたちの成長を支えていきますよう、引き続き力強いご支援をお願い申し上げます。

龍野東中学校 校長 日下 博文